

2021年1月号

文京区労協ニュース

文京区労働組合協議会 〒113-0024 東京都文京区西片 1-17-4 ハイツ西片 102号 メール：BCF06005@nifty.com

TEL：03-3815-1558 FAX：03-3813-6006 FaceBook <https://www.facebook.com/profile.php?id=100025594991506>

2021春闘勝利に向けて！



新年あけましておめでとうございます。2020年は、コロナ禍により世界中が甚大な被害を受け、今も収まるどころを見いだせないままにいます。世界史に長く残る禍となっています。体調を崩された方、仕事、収入が激減した皆様にお見舞いを申し上げます。識者は、「今回の新型コロナウイルス感染症対策をみて、新自由主義では危機管理ができないことがはっきりした。」と述べています。給付金事業では、大切な税金が電通、パソナなどの企業に中抜き・ピンハネされました。新自由主義政策による官から民への流れを変える時です。公立病院、保健所などの公務職場の多くが合理化され、生命が危機にさらされました。安倍前首相は、9条改憲策動、アベノミクスによる貧困と格差の拡大、モリカケ・桜など数々の悪政を行いました。しかし政権への国民の怒りが、検察庁法改定法案を廃案にさせるなど、政治を動かし始めています。安倍政権を引き継いだ、菅首相は、「自助、共助、公助」を公言しました。

「Goto トラベル」の停止を宣言した夜の6、7万円ともいわれる銀座での豪華ステーキ忘年会をはじめ菅首相は連日のように会食を行っていました。一

方、日比谷公園において、コロナ禍の影響で仕事も家も失った人などを支援につなげる労働組合、市民団体などの主催の野外相談会がありました。今こそ、労働組合の出番です。すべての労働者の賃上げ・底上げ、雇用の安定、8時間働けば誰でもが安心して暮らせる社会をつくりましょう！区労協は団結をいっそう強め、組合員の要求実現と組織拡大をめざし、地域の総力を挙げ、一体となつてたたかいをすすめます。年頭にあたり各団体の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念し、区労協からの挨拶といたします。今年も宜しくお願い致します。ともに頑張りましょう。

2021年元旦 文京区労働組合協議会 議長 大谷 昇

《継続こそ力、あきらめずに続けて行きます。》



12月9日(水) 昼休みに「反核69行動&文京アクション」の合同宣伝行動を行いました。文京土建女性の会、出版労連西北部地協、都教組文京支部、本郷・湯島九条の会、文京革新懇、文京区労協傘下の労働組合員など20名が参加しました。国際的な「核兵器禁止条約」が来年1月22日に発効しますが、条約に不参加を決め込んでいる日本政府に対して早期批准を求める世論を巻き起こしていくことが重要です。今回は新年1月6日(水) 昼休み・本三交差点です

《地域の大事な病院、駒込病院を守ろう》



12月5日（土）午後1時半から北区田端区民センターにおいて第13回「都立駒込病院を存続・充実させ地域医療を守る会」総会が開かれました。冒頭に益子会長（文京区労協副議長）が開会挨拶を行い、来賓として曾根はじめ都議（北区選出）、齊藤まり子都議（足立区選出）が独立法人化に反対し都立病院を守ってほしいと挨拶をいただきました。「都立病院の充実を求める会」の前澤淑子代表委員が「都立病院・公社病院の地方独立行政法人化を迫る小池都政」と題して報告をしました。その後、特別報告として東京大学教職員組合の勝野正幸執行委員長が「東京大学の独立行政法人化後の変化について」話されました。一般討論では北区、足立区、荒川区、文京区からそれぞれフロア発言。森松守る会事務局次長が討論のまとめと当面の取り組みを報告。最後に渡辺幸彦副会長（北区労連議長）が閉会挨拶を行い、すべての議事を終了しました。32名を超える参加者で熱気溢れる集いとなりました。

《北部春闘共闘会議が発足しました。》



12月12日（土）豊島区民センターにおいて北部春闘共闘会議2021年総会が開かれました。北部春闘共闘会議は板橋、北、練馬、豊島、文京の地域の労働組合と北部地域の産業別労働組合で構成され、働く者の自由と権利、仕事と暮らしを守って共同した行動

を取り組んでいる歴史ある東京北部地域の労働組合の共闘組織です。総会では村木議長の挨拶で始まり、連帯の挨拶として東京春闘共闘会議の副代表で東京地評・井沢事務局長がコロナ感染拡大による厳しい労働情勢のなかで労働組合の存在と加入を呼び掛ける大量全戸配布チラシ行動への協力が訴えられました。活動報告と2021年度の方針提案が益子事務局長から行われました。討論では北部ハイタクから、タクシー業界の取り組み、JMITUからは2021年春闘にかける意気込みが報告されました。

《JAL 争議支援、勝利を目指して頑張ります。》



12月18日（金）夕方練馬駅西口において「JAL 争議支援宣伝行動」が取り込まれました。JAL 争議団とともに練馬区労協、練馬労連、練馬全労協のみなさんのほか、北部地域から33名が集まりました。不当解雇からこの12月末で、丸10年を経過し争議の一日も早い解決を求めて真っ暗な中で650枚のチラシの配布を行うことが出来ました。新型コロナウイルスの感染拡大が進む中で日本の経済そのものも大きな影響を受け、働く人たちも解雇や雇い止めの歯止めが利かなくなってきました。JAL 経営陣も「早く解決したい」と言明している以上、今こそ決断すべきだと思います。次回の宣伝行動は新春1月29日（金）18：00より大塚駅南口で行います。

1月の主な宣伝行動

- 6（水）東京春闘新春宣伝（後樂園）朝8：00～
- 8（金）文京春闘代表幹事会（区民センター）18：00～
- 15（金）2021春闘宣言・丸の内昼デモ12：00～
- 20（水）文京アクション宣伝行動（後樂園）12：15～
- 27（水）2021春闘総決起集会（中野セーボール）19：00～
- 29（金）JAL 争議支援宣伝行動（大塚駅南口）18：00